

(令和7年6月10日 午後2時42分 開始)

○議員（小嶋 貴子議員） 公明党の小嶋貴子です。通告書に基づき、川南町の史跡について質問いたします。川南町には、戦国時代の史跡、宗麟原供養塔、松山の陣があります。宗麟原供養塔、松山の陣は、戦国時代という日本の歴史の大きな転換期を象徴する貴重な文化財です。来年の大河ドラマは、豊臣兄弟です。豊臣秀吉の弟、豊臣秀長が主人公として描かれます。松山の陣は、耳川の合戦で大友氏が陣を構え、豊臣氏の九州征伐では豊臣秀長が陣を構えた場所で、歴史的な価値が極めて高い史跡です。宗麟原供養塔は、豊臣秀吉による九州征伐の引き金ともなった1578年、耳川の戦い、高木川の戦いとも言われていますが、戦死した兵を弔うものです。亡くなった兵士は、両軍合わせて7,000とも8,000とも言われています。戦没者を敵味方なく関係なく弔うために建てられました。高城の城主、山田新介有信によって建てられた供養塔です。戦いの悲惨さと平和の祈りを伝える貴重な文化財です。

宗麟原供養塔は、昭和8年、1933年に史跡として国の指定を受けています。昭和8年、1933年といえば、日本が国際連盟を脱退し、ドイツではヒトラーが首相に就任、ナチス政権が成立しています。

日本も世界も戦争に向かっていく時代です。この時に、敵味方関係なく亡くなった方を弔い、平和を願う供養塔が史跡として国から指定を受けたことは、大きな意味のあることだと感じます。県内に国指定の史跡が22あります。その中で、宗麟原供養塔は最初に国の指定を受けています。この当時、史跡として国から指定を受けるには、川南町の先達の並々なぬ思いと努力があったと思います。昭和52年、400年祭を機に、湯迫地区の方々が中心となり守ってきました。その400年祭に発行されたのが、この十方空です。この十方空の最初のほうに、奉賛会会長、日高竹夫という方の挨拶が載っています。町長さんだったと聞いていますが、世相は道義薄れゆくと言われる今日、宗麟原供養塔の由来を知り、この400年祭を機として人類愛に燃え、相互扶助、平和な地域社会建設と史跡検証保存に努力することを誓い、御協力くださった皆様へのお礼と祈念し、十方空の発刊の言葉といたしますと書いてありますが、深い思いがあって、400年祭を迎えられました。現在は、宗麟原供養塔保存会の皆さんが、毎月草刈りや清掃を行っています。宗麟原供養塔の保全、保護を、町としてこれから具体的にどのように取り組んでいくのか伺います。

以下の質問は、質問席にて伺います。

○町長（宮崎 吉敏君） 小嶋議員の質問にお答えいたします。

まず、最初に、宗麟原供養塔保存会の皆様には、現在に至るまで維持管理業務を地域で遂行していただき、大切に保存活動に努めていただいていますことに、改めて感謝と御礼

を申し上げたいと思います。

川南町も、現在、湯迫地区での方々が活動を行っています。私も一回だけ、総会に参加させていただきました。その中で、やはりこの文化遺跡というものの大切さを身に染みて感じたところです。ぜひ、今、町が支援として出している補助については、多い少ないという問題はあるかもしれませんが、私自身は、しっかりと供養塔の保存に努めてまいりたいと思っています。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） この宗麟原供養塔にしても、ここにちょっと出してきたんですけれども、ホームページにちょこんと載っているだけのようです。川南町の誇るべき史跡をもっと啓発し、町民の方にも広く知らしめていくことが必要であると思います。来年の大河ドラマ、豊臣兄弟、このタイミングが、全国に向けて川南町の歴史的価値を発信し、多くの方に訪れていただく絶好の機会であると考えます。

松山の陣に行ってみました。雑草が生い茂り、案内板も立っていませんでした。松山の陣は、戦国時代の高城合戦で大友氏や豊臣氏が布陣した場所であり、手つかずで残る土塁や空堀など貴重な遺跡です。先日、宮崎日日新聞に掲載されていました。御存じの方も多いと思います。また、宮日新聞のホームページにも、こんなふうに紹介されています。

全国から約60人の歴史ファンがツアーで、松山の陣や宗麟原供養塔を訪れたそうです。手つかずで残っているということが、歴史ファンにとってはたまらなく魅力的で、大変重要なのだそうです。先日、都城の歴史好きの友人が訪ねてきて、非常に感動していました。と言いながら、実は私も全然史跡のことを知らなくて、松山の陣の存在も知りませんでしたし、またその貴重さも分かりませんでした。今回、大河ドラマについて話をする中で、この松山の陣がどれほど貴重な史跡であるかということを知ることができました。既に川南町の史跡の歴史とその貴重さを知っておられる宗麟原供養塔保存会の方から、この松山の陣の保存と整備に関して、要望書が昨年11月に出されています。開発などで荒らされないために、松山の陣の早急な公有化や、木城町、川南町に点在する陣地跡も含め、保存について木城町と協議すること、また保存、保護のための基本計画を策定することなどの要望です。川南町は、町としてこれから松山の陣の保存整備について、この要望書をどう捉え、史跡の価値をどう認識しているのかお聞きします。

○町長（宮崎 吉敏君） 小嶋議員の質問にお答えいたします。

昨年11月に要望書が届いてまいりました。この中で、教育課、教育長を含めて前に進むということも含めて、文化財保護審議会へ、町指定についての審議をお願いしました。まだこのことについては答えが返ってきておりませんが、川南町の史跡とすれば非常に大切なものと捉えています。また、要望書が上がってきた時点で木城町のエducational長、それから町長に向けて、宗麟原、また高城があり、宗麟原があり、松山の陣、このことについてお互いに連携して協力していきましようというお話をさせていただきました。川南町、観光と

いう世界で、他町村に比べれば非常に少ないと感じています。今回、NHK大河ドラマでも取り扱われるということで、非常にチャンスである。また逆に、この貴重な史跡を今まで手をつけないでということが逆に信じられない。何としても、この松山の陣については、川南町の観光という捉え方で、交流人口を生むことも非常に可能ではないかと思っています。また、宗麟原から木城——南東にあるんですか、から見させていただくと、非常にロケーションがいいんです。ここが整備されるということになれば、間違いなく川南町的一大観光地として進むことができると思っています。何としても、大切な史跡ですので、維持、管理に努めていきたい、そのように考えています。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） この松山の陣のことをそのように言っていただいて、本当にうれしい気持ちです。この松山の陣跡を町の史跡に指定することは、もちろんしていただきたいんですが、さらに国や県に対して申請をするべきではないか、国指定にさせていただくべきではないかと考えますが、どうですか。

○町長（宮崎 吉敏君） 先ほど答弁で申しました、川南町に文化財保護審議会というところが組織として存在しています。まずここが第一、ここをスタートしないと次のステップに動けないということになります。この中で、川南町の遺跡という中でもう一点、後牟田遺跡もあります。こういったものを町の財産としてしっかりと守っていく。そういう思いです。

以上です。

それから、国県の指定については、審査会の判断を仰いで、町としてしっかりと対応を図っていききたい。そのように考えています。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） この川南の文化財審議会は、たしか年1回開催と聞いています。今年は4月20何日かに開かれたと聞いているんですが、昨年11月に要望書が出されることを受けて、そこで文化財にしよう、どうのという話は出なかったのでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） まず、第一に審議会が共通の認識を持つことが大事だろうと思っています。まだ審議会の結果は私のもとには届いておりません。開催されたということはお伺いしています。そのことをもってしっかりと前に進めていく、このことについては、国県も元より松山の陣、それから高城、この史跡については非常に表現があれですがたぐいまれなというか、すばらしい文化財だという認識をいただいたということも、要望書を出していただいた方からお伺いいたしました。

国県もそれを認めたということであるなら、川南町が、そして木城町が、しっかりと連携を組めば前に進んでいくことだろうと考えています。

以上です。

○教育長（平野 博康君） 松山の陣につきましては、先ほど町長のほうからもありまし

たが、文化財審議会に審議をお願いしているところであります。その結果を受けて、町指定、県指定、国指定等の対応について検討してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） 教育委員会は当然なんですけど、町長の熱い熱い思いで、ぜひ押し進めていただきたいと思います。先ほど紹介したときに、この400年祭、この冊子が出たという話をしましたが、この400年祭のときにも、町長とか、その周りの方たちが熱い思いで、この400年祭を開催された。ですので、とにかく町長の熱い思いで、ぜひこの審議会を臨時会でも開いて、またさらに押し進めていただきたいと思います。

来年1月から、大河ドラマ、豊臣兄弟が放送予定です。それに合わせて、観光に来る歴史ファンの方々もいると考えられます。大河ドラマの放送に合わせてまちおこしをした自治体があります。たくさん出ていたんですけど、三つほど紹介させていただきます。一つは山口県萩市。2004年の新選組の放送に合わせて、桂小五郎の生誕地であることをアピールし、観光資源として整備し、幕末維新祭りの開催や観光ルートの拡充、大河ドラマ館が設置されました。放送期間中は観光客が前年の約1.5倍に増加しました。観光収入が増え、市の歴史遺産を生かした長期的な観光戦略に今もつながっています。

二つ目は滋賀県長浜市。2011年、江、姫たちの戦国、覚えていらっしゃる方も多いと思うんですが、江が生まれたとされる長浜市で、江、浅井三姉妹博覧会を開催し、小谷城址やゆかりの寺社を整備し、PRしました。キャラクター商品やスタンプラリーなど観光誘導策を展開し、博覧会の来場者数は60万人を超え、地域経済が活性化しました。ドラマの終了後も、戦国、浅井の郷として観光ブランドを継続しています。

三つ目は岩手県奥州市。2012年平清盛の放送に合わせ、奥州藤原祭りなどイベントを開催し、中尊寺といった世界遺産と連動したPR活動を行いました。地元のガイドによる歴史ツアーも充実させました。中尊寺参拝客数が前年より15%増え、地元の歴史に対する関心が高まりました。これらの事例に共通するのは、地域の歴史的資源に新たな価値、ドラマを与えて再評価し、観光やまちづくりに活用したという点です。自治体が企画段階からNHKと連携したり、住民が積極的に参加することで一過性に終わらず、継続性のあるまちおこしにつながっています。川南町内の方でも、この史跡の存在を私のように歴史を知らない方もたくさんいるのではないのでしょうか。宗麟原供養塔、松山の陣跡のほかにも、国指定の川南古墳群や後牟田遺跡などがあります。観光資源として、観光はどのような形で考えていますか。また、とにかく期限を切るのは難しいと教育委員会のほうでも言われたんですが、ぜひ急いで整備をしていただきたいと思いますと思うんですが、いつまでにどのような形でしていただけるか、答えていただきたいと思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 小嶋議員の質問にお答えいたします。

今、木城町が大河ドラマで一生懸命、町挙げて取り組もうという形を進めていらっしゃいます。また、大友宗麟の大分の後援会が、NHK大河ドラマを大友宗麟を扱っていただ

きたいということで、要望活動をNHKに行っています、今現在。そういうことも含めて関ヶ原の戦いに匹敵する松山の陣、高城という島津と大友の戦い、これは歴史上すごく価値のある史跡だと考えています。このことについては、いつまでという限定でお答えするというのは非常に厳しいと思っています。ただ、間違いなく関係者の方々、理解を求めて前に進める、そういう思いです。何としても、川南町文化、歴史ということに対しては、今まで非常に弱い分野じゃなかったかなと捉えています。私もしっかりとこの地に生を受けたということの意味をもう一度考え直す中でも、文化、歴史というのは遺跡というのは大事だと思っていますので、しっかりと進めてまいりたいと思います。

期限については、今答えることができませんので、改めて答えたいと思います。

以上です。

○教育課長（三好 益夫君） ただいまのことに関連しまして、発言させていただきたいと思います。町の指定でということなんですけど、具体的に言うと、土地が私有地なのでというのがあって、保全をするために必要だからということで、今審議のほうをお願いをしているところです。この文化財保護審議会が管轄するものとしては、そういう史跡もありますし、天然記念物、それから無形文化財幅広い分野にいるということでいろいろ審議していただいているところです。今回、まずはあそこの重要な場所を保全するため、歴史的な価値を失わないように保全をするためにということで今お願いをして、審議をしていただいている状況になっております。

先ほど町長のほうからもありましたように、いつまでにというのがなかなかこちらで指定して、いつまでに決めてくださいという言い方はできませんので、ただ、今お願いをしておるところです。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） ぜひ、職員の皆さんも熱い熱い思いで指定に向けて動いていただきたいと思います。県内でも、西都原古墳はまた別格ですけど、これだけ国指定があり、またいろんな資源がある川南町の史跡だったり、自然だったり、湿原もそうですし、ぜひぜひ、もっともっと皆さんに知っていただくPR活動をぜひやっていただきたいと思います。

また、これらの史跡や文化財を観光資源としてだけでなく、教育資源としても積極的に活用すべきと考えます。郷土愛を育み、自分の町に誇りを持ち、川南はねって自慢できるような、そういう気持ちを持ってもらうために、学校教育の場で子どもたちに史跡や文化財についての学習は行っているか伺います。

○教育長（平野 博康君） 各学校におきまして総合的な学習の時間におけるふるさと学習等において郷土の史跡を含めた伝統や自然産業等について調べる学習を設定しておりますし、学校によっては、宗麟原や古墳群等の町内の史跡巡りを学習計画に位置づけているところもございます。また、多賀小学校のように宗麟原供養塔の供養祭において児童が

カンカン踊りを披露している取組を行っているところもございます。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） ありがとうございます。ぜひ、子どもたちにも伝えていただきたいと思います。今回、大河ドラマが放送されますが、それに連動した企画、PRがPLATZ（ぷらっつ）にも史跡がありますという大きなポスターを貼ったりとか、町民を対象とした歴史講座や史跡巡りツアーの開催など考えられないでしょうか。町長、お願いします。

○町長（宮崎 吉敏君） 小嶋議員の質問にお答えいたします。

私自身やはり川南町の文化、歴史、遺跡は大切だと考えています。そのことも含めて、しっかりとこれが町民に行き渡るためのことについては、教育課と含めて協議を進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） ぜひ木城町とも連携し、この大河ドラマの放送の機会にぜひ川南町の発展につなげていく施策PRをお願いしたいと思います。

NHKに連絡を取るとかいう、そういう気持ちはないでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 今現在、木城町が大河ドラマのということで一生懸命取り組んでいらっしゃいます。それと先ほど言った大友宗麟保存会、大分の保存会の方々が大河ドラマの誘致ということで、一生懸命活動をされています。川南町もしっかりとその中でとることができるかという問題ですが、NHKまでにはまだちょっと私たちが行ける、ただ会場になったということですよね。島津と大友と豊臣と島津この歴史の会場になったということですから、今、大友宗麟のNHK大河というのを一生懸命取り組んでいらっしゃいます。もう3年ほどになろうかと思います。それを見据えて、こちらから強烈にというのはまだ難しいと思っていますので。

以上です。

○議員（小嶋 貴子議員） ぜひ強烈に推し進めていただきたいと思います。

これをもって一般質問を終わります。

（ 午後3時11分 終了 ）